

第2回口蹄疫対策検証委員会の概要 (平成22年8月18日開催)

本日、第2回口蹄疫対策検証委員会を開催し、以下のとおり、ヒアリングを実施した後、委員間でフリーディスカッションを行った。

1 ヒアリング対象者は以下のとおり。

(1) 鹿児島県農政部畜産課 北野課長

鹿児島県における口蹄疫予防対策の実施状況や、国と県の役割分担・連携についてのお話をいただいた。

(2) 食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会牛豚等疾病小委員会 田原委員長

牛豚等疾病小委員会の審議内容等についてのお話をいただいた。

(3) 口蹄疫疫学調査チーム 津田チーム長、川田課長補佐

これまでの疫学調査の状況や今回の経緯を踏まえた今後の防疫対策を考える上で留意すべき事項等についてのお話をいただいた。

(4) 宮崎県宮崎家畜保健衛生所検査課 溝部課長

初期段階の事例の対応経緯等についてのお話をいただいた。

2 フリーディスカッションでの委員の主な発言は以下のとおり。

- どう早く口蹄疫の発生を見つけ、早く通報させるかが重要。
- 農家レベルでの知識向上や、そのための情報伝達が必要ではないか。
- 定期的な訓練も必要ではないか。
- 諸外国の防疫体制についてどうなっているのかも調べる必要があるのではないか。
- 口蹄疫の診断について、現場でできるようにすべきとの意見もあるが、国で一元的に実施すべきではないか。